



2020年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月14日

上場会社名 株式会社ビーブレイクシステムズ
 コード番号 3986 URL <https://www.bbreak.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 白岩 次郎
 (氏名) 熊田 圭一郎
 TEL 03-5487-7855

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年6月期第3四半期の業績(2019年7月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	902	7.2	132	4.2	132	4.2	98	12.3
2019年6月期第3四半期	841	0.8	126	4.2	126	4.4	88	3.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	63.95	
2019年6月期第3四半期	56.97	56.96

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	1,612	1,256	77.9
2019年6月期	1,476	1,176	79.7

(参考)自己資本 2020年6月期第3四半期 1,256百万円 2019年6月期 1,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		12.00	12.00
2020年6月期		0.00			
2020年6月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,154	2.3	132	17.9	132	17.9	98	12.1	63.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.2/1「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期3Q	1,536,960 株	2019年6月期	1,536,960 株
期末自己株式数	2020年6月期3Q	168 株	2019年6月期	79 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期3Q	1,536,861 株	2019年6月期3Q	1,536,649 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 新型コロナウイルス感染拡大の影響について	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響を受け、個人・法人ともに活動が大きく制限されるなど、先行きが不透明な状況で推移しました。

当社が属する市場および顧客においては、足下の企業のシステム投資ニーズは安定しており、エンジニアの需要も高水準を維持しているものの、今後の状況については予断を許さないものと考えております。

こうした環境の中、当社は、「ITで経営の今を変える、未来を変える」のコンセプトメッセージを掲げ、クラウドERP「MA-EYES」を中心としたパッケージ事業や、システムインテグレーション事業の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高902百万円(前年同四半期比7.2%増)、営業利益132百万円(同4.2%増)、経常利益132百万円(同4.2%増)、四半期純利益98百万円(同12.3%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①パッケージ事業

主力商品であるクラウドERP「MA-EYES」について、新規受注や既存ユーザーからの追加開発に関する受注が堅調に推移し、また、前期に受注した案件の稼働に伴い保守料やSaaS版の利用料金が増加したことから、売上高は572百万円(前年同四半期比3.8%増)、セグメント利益は265百万円(同2.5%増)となりました。

②システムインテグレーション事業

堅調なIT需要を背景に単価・稼働率とも堅調に推移しました。また、前期にオープンしたフリーランス専用の案件紹介サイト「Humalance」の貢献もあり、成約件数が増加した一方で原価率も上昇したことから、売上高は329百万円(前年同四半期比13.6%増)、セグメント利益は78百万円(同3.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は1,612百万円となり、前事業年度末に比べ136百万円増加いたしました。これは主に、売上規模の堅調な推移に伴う現金及び預金の増加によるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債合計は356百万円となり、前事業年度末に比べ56百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金の増加およびパッケージ事業の保守やSaaS版利用料に係る前受金の増加によるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産合計は1,256百万円となり、前事業年度末に比べ80百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、パッケージ事業の新規提案において一部の提案先に発注の延期や結論の先延ばし等が見られ、また、システムインテグレーション事業においても営業活動に支障がみられるなど、計画通りの受注を得られない見通しとなったことから、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2020年5月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(4) 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

国内での感染拡大が報じられるようになった2月以降、社内において以下のように対策を進めてまいりました。

2月：不要不急の外出自粛要請、病欠時の「37.5度以上の発熱」「咳」の有無報告義務化

 全社イベントの中止、土日振替出勤の推奨

3月：コアタイム短縮による時差出勤の推奨、在宅勤務の推奨、対面会議の原則禁止

 全社ミーティングの中止、社内サークル活動の禁止

4月：「緊急事態宣言」を受け、全面的な在宅勤務に移行

本書提出時点において、当社役職員に感染者は出ておらず、また、在宅での業務遂行に必要な機器およびネットワークは正常に稼働していることから、当社の基本的な業務の遂行に大きな支障は発生しておりません。

一方、営業活動には大きな支障が生じており、新規提案先の結論先延ばしや既存顧客のシステム開発計画の変更・先延ばし等により、パッケージ事業においては、新規および追加発注の延期や検収タイミングの後倒しなどが見られ、また、システムインテグレーション事業においても、新規提案活動に大きな制限がかかっていることから、従来通りの受注を得るのは困難な状況となっております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,257,534	1,343,874
売掛金	150,210	201,198
前払費用	15,851	12,334
未収収益	6	—
立替金	78	42
その他	230	184
流動資産合計	1,423,909	1,557,632
固定資産		
有形固定資産	441	314
無形固定資産	5,021	3,563
投資その他の資産		
長期前払費用	—	3,483
敷金	24,121	24,121
繰延税金資産	22,664	22,664
投資その他の資産合計	46,786	50,269
固定資産合計	52,248	54,146
資産合計	1,476,157	1,611,778
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,301	16,631
未払金	6,428	4,771
未払費用	22,082	9,682
未払消費税等	11,279	23,920
未払法人税等	30,684	10,348
未払事業所税	1,511	1,154
前受金	125,312	162,441
預り金	21,367	4,380
賞与引当金	—	45,635
受注損失引当金	79	2,057
未払配当金	182	228
流動負債合計	237,226	281,248
固定負債		
退職給付引当金	62,553	74,506
固定負債合計	62,553	74,506
負債合計	299,779	355,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,632	232,632
資本剰余金	286,063	286,063
利益剰余金	657,881	737,719
自己株式	△198	△391
株主資本合計	1,176,378	1,256,024
純資産合計	1,176,378	1,256,024
負債純資産合計	1,476,157	1,611,778

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	841,209	901,584
売上原価	475,917	500,165
売上総利益	365,292	401,419
販売費及び一般管理費	239,032	269,905
営業利益	126,260	131,513
営業外収益		
受取利息	11	12
雑収入	5	8
営業外収益合計	16	19
営業外費用		
支払利息	42	—
株式交付費	30	—
その他	1	2
営業外費用合計	73	2
経常利益	126,203	131,531
税引前四半期純利益	126,203	131,531
法人税等	38,665	33,250
四半期純利益	87,538	98,281

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2018年7月1日至2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	システムインテ グレーション事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	551,217	289,992	841,209	—	841,209
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	551,217	289,992	841,209	—	841,209
セグメント利益	258,565	80,719	339,284	△213,023	126,260

(注) 1. セグメント利益の調整額△213,023千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自2019年7月1日至2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	システムインテ グレーション事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	572,263	329,321	901,584	—	901,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	572,263	329,321	901,584	—	901,584
セグメント利益	265,012	78,034	343,046	△211,533	131,513

(注) 1. セグメント利益の調整額△211,533千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。